豊川市定例記者会見【平成２８年２月】

日時　平成２８年２月１７日（水）午前１１時
場所　豊川市役所　本３４会議室

市長あいさつ

昨年の市長選でお示しした政策ビジョンの各項目について、任期中における実施内容を記した「工程計画」の作成と、この計画を反映させた「平成２８年度当初予算案」を編成いたしましたので、発表させていただきます。

先ず、政策ビジョン工程計画でございますが、内容といたしましては、懇談会など各種会合に出席した際、市民の皆様方を始め多くの方から寄せられた声を踏まえまして、Smile、Safety、Soft、Simple の４項目を「４Ｓのまちづくり」として政策の柱に掲げ、この政策の実現を図るために取組む３３項目の施策から構成されています。

今回作成した工程計画は、政策ビジョンの各項目についての「具体的内容」や「実施時期」、そして実施に必要な「費用」、また、担当する「部署」を明示し、市民の皆様に事業への取組みをお示しするとともに、事業の進行管理に用いるものです。

今後は、この工程計画に沿いまして、市の財政運営や社会経済情勢の動向を踏まえ、計画の着実な進捗を図ってまいります。このため、各年度の経過点において、実施状況についての自己評価を実施することで事業の進捗を管理し、予算の編成や実施計画の策定を通じて、政策ビジョンの実現を推進してまいります。

また、政策ビジョンでは、国県に対する要望活動として５項目を挙げておりますが、本市、東三河地域の振興に寄与する事業ですので、関係機関に対し、事業の実施を積極的に働きかけてまいります。

次に、この「政策ビジョン」を反映させた「平成２８年度の当初予算案」について、発表させていただきます。

昨年、秋から取り組んでまいりました予算編成作業では、全国的に社会保障関係費が大きく増加するなか、自主財源の確保に努め、人口問題などにより急速に変化する社会情勢への対応を念頭に置き進めてまいりました。

そして、私の施策の柱としております「福祉と文化、そしてスポーツの盛んなまちづくり」を着実に推進するとともに、政策ビジョンの目標としております「子どもたちの笑顔があふれ安全安心で人にやさしいまち」の実現を目指し、積極的な大型予算を組んだところでございます。

それでは、一般会計の状況でございますが、まず、歳入におきまして、前年度との比較で申し上げますと、根幹をなす市税では、法人市民税が減少したものの、個人市民税及び固定資産税が増加し、市税全体では、６億円、２．２％の増としております。

その他、国県支出金が、資源化施設整備事業や臨時福祉給付金への財源措置などにより、

１１億２千万円、 ９．８％の増、繰入金については、財政調整基金等の活用により、１０億９千万円、１２４．０％の増となっています。

歳出につきましては、私の「政策ビジョン」で掲げました「４Ｓのまちづくり」に基づき、主要事業につきまして申し上げます。

まず、「子育てするなら豊川市といわれるまち」を推進するため、妊娠出産期の母子支援事業を充実するほか、私立幼稚園就園奨励費補助の拡充や小中学校の普通教室に空調設備を導入するための設計業務などを行います。また、市文化会館においてジャズコンサートや落語の公演を行い、質の高い文化芸術に触れる機会を増やしてまいります。

次に、「安全安心で活気あふれるまち」を目指し、豊川海軍工廠跡地への平和公園整備工事に着手するほか、産業振興のため、「チャレンジとよかわ活性化事業」などの支援を行ってまいります。

そして、「人にやさしく健康で自然と共生したまち」を進めるため、再生可能エネルギー導入への支援や資源化施設の整備を進めるほか、高齢者の介護予防事業や相談事業を充実します。

最後に、「わかりやすく、無駄のない行政」をすすめるため、小坂井地区の公共施設再編整備基本計画の策定や、東三河広域連合では、８市町村との連携を強化してまいります。

その他にも、国の施策による低所得者世帯などに支給する臨時福祉給付金の計上や、防災・防犯、基盤整備、観光振興など、市民要望の強い事業にも、積極的に予算の重点配分を行っております。

以上、予算案の重点部分を簡単にお話しいたしましたが、一般会計の予算総額としましては、６０４億８千万円となり、前年度に比べ３７億円、比率にして６．５％の増と、初の６００億円を超える予算規模となっております。

これは、社会保障関係費の増額や大型普通建設事業の取り組みが、主な要因でございます。本市に活気をもたらし魅力あふれる事業を多く計上した予算となっております。

最後に、予算額の数字「６（ろく）」、「０（ぜろ）」、「４（よん）」、「８（はち）」に対する、私の思いを申し上げますと、「６（ろく）」と「０（ぜろ）」で、『一般会計、初の６００億円』、そして、「４（よん）」と「８（はち）」で、『幸せ予算』となり、『一般会計、初の６００億円　幸せ予算』であります。これは、「１８万市民の総活躍社会」に向け、幸せを呼び込む予算であることを思い抱いております。

私からは、これで終わりますが、政策ビジョンの工程計画につきましては副市長が、そして、予算案の詳細につきましては、担当から説明させますので、よろしくお願いいたします。

内　容

（1）政策ビジョン工程計画について（企画政策課）

（2）平成28年度豊川市予算（案）について（財政課）